

第46回ICANN北京会議レポート

一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター
IP事業部・インターネット推進部 奥谷泉

北京会議前のICANN動向

トロント会議以降の主な動向

- ICANN本部機能の地域化
 - 新CEO着任後、これまでのように米国のみを活動拠点にするのではなく、より広いステークホルダーと積極的に関わっていく姿勢
- 新gTLDの申請処理、その他施行に向けた対応開始
 - 初期審査開始
 - 商標保護データベース(Trademark Clearinghouse: TMCH)の運用開始
 - 新gTLDに施行に伴う契約の整備
- gTLDのWHOISのあり方の検討継続
 - Expert Working Groupをはじめ、複数のワーキンググループにて課題を検討

ICANN本部機能の地域化

- 「ハブ(Hub)」と呼ばれる本部機能を世界の3都市に分散することをCEOのFadi Chehade氏より発表
 - ヨーロッパ・アフリカ・中東 – イスタンブール(新設)
 - アジア太平洋 – シンガポール(新設)
 - 北米・南米 – ロサンゼルス
- ハブに加え、地域・主要な都市単位でEngagement Centerと呼ばれるオフィスも設立する計画
 - 北京、南米オフィス(ウルグアイ)設立を発表
 - 東京でのオフィス設立も検討している

南米オフィス
“House of the Internet”



Fadi Chehade氏による東京訪問

- 総務省、JPRS、JPNIC、国内のレジストラなどを訪問 2013年2月19日



JPNIC訪問時
左から四番目がFadi Chehade氏

<https://www.nic.ad.jp/ja/topics/2013/20130222-01.html>

アジア訪問の一環であり北京、ソウル、シンガポールも訪問

新gTLDの申請処理状況

- 合計申請数: 1,930件、有効な申請数: 1,891件

*2013年4月8日付のICANN発表データ

- 申請処理に向けた対応
 - Prioritization Draw
 - String Similarity Contention Set公開
 - String Similarity IDN Variant Review Result公開

- 初期審査結果の公開 (2013年3月22日～)
- 2013年8月30日までに初期審査完了予定
 - <https://gtldresult.icann.org/application-result/applicationstatus>

NEW GTLD CURRENT APPLICATION STATUS

[Download All PICs](#)

2013年5月20日時点で
約400件の初期審査完了

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 ... 55 56

FILTER RESULTS

QUICK SEARCH

IE Result - Pass

Prioritization Number	String [1]	Applicant	Location [2]
▶ 1	天主教	Pontificium Consilium de Communicationibus Socialibus (PCCS) (Pontifical Council for Social Communication)	VA
▶ 2	ストア	Amazon EU S.à r.l.	LU
▶ 3	شبكة	International Domain Registry Pty. Ltd.	AU
▶ 4	香格里拉	Shangri-La International Hotel Management Limited	HK
▶ 5	中信	CITIC Group Corporation	CN
▶ 6	онлайн	CORE Association	CH
▶ 7	淡马锡	Temasek Holdings (Private) Limited	SG
▶ 8	世界	Stable Tone Limited	HK
▶ 9	сайт	CORE Association	CH

商標保護に関する対応

既存のgTLDではJOBSが
利用を表明

- 商標保護データベースの運用開始 3月26日
 - <https://www.nic.ad.jp/ja/topics/2013/20130328-01.html>



The Trademark Clearinghouse (TMCH)

<http://trademark-clearinghouse.com/>



The Trademark Clearinghouse: Protect your trademark online

The Internet Corporation for Assigned Names and Numbers (ICANN) is responsible for managing the domain name system and ICANN developed the new gTLD program in order to increase competition and choice in the domain name space. The **Trademark Clearinghouse (TMCH) - launching March 26** - is the most important rights protection mechanism built into ICANN's new gTLD program. It allows brand owners to submit their trademark data into one centralized database, prior to and during the launch of new gTLDs. Simply put: The TMCH is a one-stop-solution for protecting your brand in the new gTLD era.

Any trademark holder, private person, or company can submit their trademark to the Clearinghouse. Download the [Clearinghouse guidelines](#) for all detailed information regarding eligibility. The TMCH protects brands in two ways: with a [Sunrise Service](#) and a [Trademark Claims Service](#).

- Uniform Rapid Suspension(URS)の手順と規則の公開
 - **Uniform Rapid Suspension**
<http://newgtlds.icann.org/en/applicants/urs>

提供事業者は以下の2社:

The National Arbitration Forum (FORUM)

Asian Domain Name Dispute Resolution Centre (ADNDRC)

申請者への委任に向けた準備

- 新gTLDの導入に伴う契約の整備

- 新gTLDレジストリ申請者向けの契約
(New gTLD Registry Agreement: RA)
- 2013年版レジストラ認定契約
(2013 Registrar Accreditation Agreement : RAA)

- 委任前試験

- DNS、Whois、EPP、IDN対応、データエスクロー、必要な文書が整備されていること
- これをパスしたうえで、契約の最終審査が行われる

- Pre-Delegation Testing (PDT)
<http://newgtlds.icann.org/en/applicants/pdt>

安全性・安定性・消費者保護の観点 からの検証

- Lルートサーバにおけるルートゾーンへの影響計測
質問・コメント先 : [terry.manderson\[at\]icann.org](mailto:terry.manderson@icann.org)

ルートゾーンの増加に関する統計

<http://dns.icann.org/services/root-zone-scaling-report-zone-contents/>

Lルートサーバのパフォーマンス計測

<http://dns.icann.org/services/root-zone-scaling-root-zone-system/>

- 緊急バックエンドレジストリオペレータ (EBERO)の選定
 - gTLDレジストリがサービス提供を行えなくなった場合にサービスバックアップを行う事業者
 - CNNIC、Neustar、Nominetが選定された (2013年4月2日)

新gTLDの施行により、競争の促進だけではなく
公共の利益面で大きな懸念がないことも重視

北京会議での議論に関連する対応

- 2013年版レジストラ認定契約案の公開 (2013年3月7日)
 - 北京会議直後の契約締結し、委任前試験を行う流れを想定
 - プレスリリース@NY DNS Summit (2013年4月23日)を予定
 - <http://www.icann.org/en/news/announcements/announcement-2-07mar13-en.htm>
- 商標保護データベース(TMCH)の運用課題に関するICANNの対応案発表(2013年3月20日)
 - トロント会議で提示された課題への対応
 - <http://newgtlds.icann.org/en/about/trademark-clearinghouse/strawman-solution-memo-20mar13-en.pdf>
- WHOISに関する検討として、理事会の決定に基づき、Expert Working Groupを設立・メンバー決定
 - WHOISのあり方を抜本から見直し、検討結果は適宜契約にバインド
 - <http://www.icann.org/en/news/announcements/announcement-14feb13-en.htm>

北京会議での動向・議論

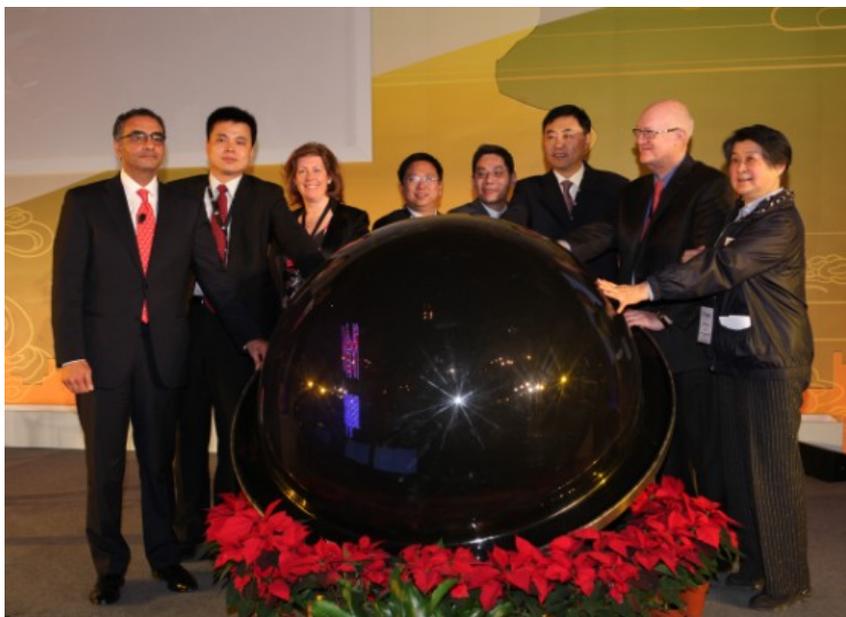
北京会議の概要

- 開催期間：2013年4月7日(日)～11日(木)
- ホスト：CNNIC、CONAC、ISC
- 参加者：約2,600名

過去最大の参加者数



<http://beijing46.icann.org/>



オープニングセレモニーでの
北京におけるICANNの
Global Engagement Center
設立発表

CNNICがオフィスを提供

プログラムの一部紹介

• オープングセレモニー

- CEOによるスピーチでは“*Our Season*”を題して、計画に対するこれから具体的な取り組みを進める段階であることが語られた
- ICANNの組織紹介ビデオも上映し、今後のICANNの戦略計画策定への参加を呼びかけ

• 新gTLDに関するプログラムは6セッション

- 主なセッションは新gTLDステータスアップデート、委任に向けた各種対応に関するセッション: TMCH、委任前試験、新gTLD用の契約
- 本セッション外にTMCH主催のカクテルも実施

• GNSO

- 議論喚起を目的とした提案が2点 (TMCH、2013年版レジストラ契約)
- いずれもICANN事務局による進め方への懸念が発端

• Public Forum

- 参加者からの質問に対する回答をICANN blogで公開
 - <http://blog.icann.org/2013/05/answering-your-questions/>

どちらも結果として
取り下げ

ICANN46プログラム

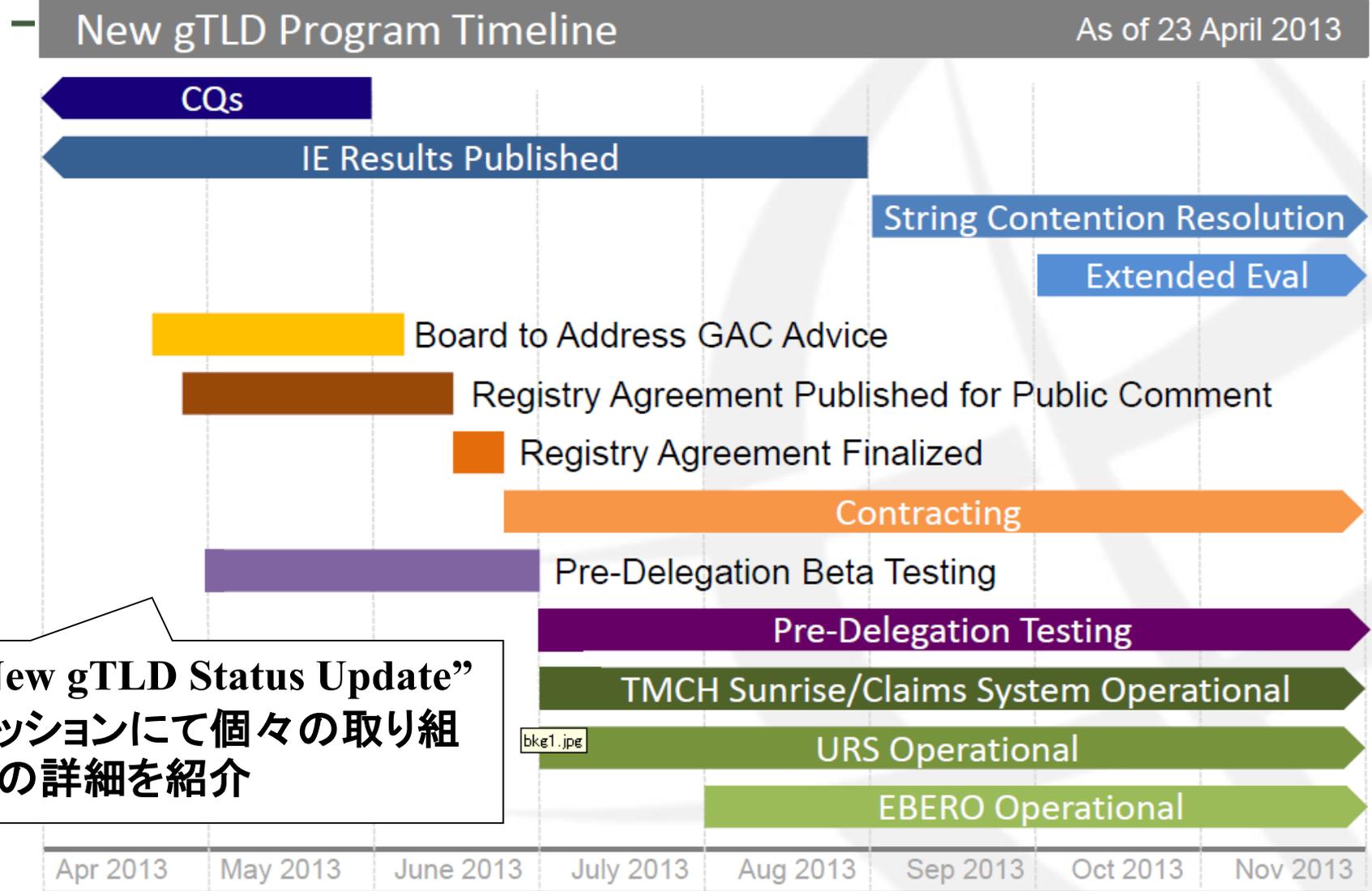
<http://beijing46.icann.org/beijing46/schedule/all/simple>

北京会議での主な議論・動向

- 新gTLDが最も着目されていたが、他にも重要な検討・情報発信も行われていた
- 新gTLD関連の議論・動向
 - 施行に向けた対応は進んでいる一方、個々の対応事項への課題の洗い出しは完了しておらず、各種ステークホルダーの意見が充分にとりまとめられていない部分も見受けられる
 - 大きな争点は新gTLDの施行に向けた契約の整備とTMCHに関するICANNの対応
- 新gTLD以外の議論・動向
 - WHOISのあり方に関する検討、スパム対応やIPアドレス管理等に関するITUの動向の紹介、DNSSECに関する情報発信

GNSOでの2点の
提案に発展

新gTLD プログラム全体スケジュール



“New gTLD Status Update”
セッションにて個々の取り組みの詳細を紹介

商標保護に関する動向・議論

- 商標保護データベース

 - “Trademark Clearinghouse”セッション

 - ICANN事務局から発表された継続課題への対応”Strawman Solution”も含め、整理が必要な課題がまだ多いことが表明された

 - GNSO Public Meeting

 - 「GNSOおよびパブリックコメントのコメントを取り入れずに継続課題への対応案をICANN事務局にて決定したことへの懸念をGNSOとして表明する」とした提案について議論

 - Public Forum

 - GNSOに対して相談した事項について、GNSOと異なる見解の対応をする場合はGNSOにその判断を共有することがGNSO Chairから理事会に対して求める意見を表明

- Uniform Rapid Suspension(URS)

 - 特筆すべき動きは北京会議では確認されていない

申請者への委任に向けた準備

—新gTLDの施行に向けた契約—

- “New gTLD Registry Agreement, 2013 Registrar Accreditation Agreement, & the Registrants Rights & Responsibilities “セッション
 - 特に2013年版レジストラ認定契約への反応が強く、ICANNが一方的に契約解除ができる条項への懸念があげられていた
- GNSO Public Meeting
 - 「2013年版レジストラ認定契約内容に対してGNSOで多くの懸念が表明されている中で、契約の整備を新gTLD導入の条件としていることは適切ではない。既存のレジストラ認定契約でも新gTLDの取り扱いを認めるべき。」との提案提出



- NYのDNS Summitでのプレスリリース計画は見送り
- 北京会議での意見を踏まえた新gTLDレジストリ契約およびレジストラ認定契約の最終案への意見募集を実施済
 - 2013年6月の契約締結開始が目標

申請者への委任に向けた準備

—委任前試験 (Pre-Delegation Testing)—

- “New gTLD Pre-Delegation Testing Process Review”セッションにて今後の流れを紹介
- Public Forumでは契約の施行日が遅れても試験開始が遅れないように対応したいとの意向をCEOより表明

安全性・安定性・消費者保護の観点 からの検証

- SSACによるセキュリティ勧告

- 新gTLDで申請されているドメイン名に対して、内部向けCA(認証局; Certification Authority)証明書の仕組みを利用して、申請者以外が証明書を発行できるセキュリティの脅威
- CA Security Councilと連携して主なCAへの必要な対策は実施

SAC057 - SSAC Advisory on Internal Name Certificates

<http://www.icann.org/en/groups/ssac/documents/sac-057-en.pdf>

RIPE66カンファレンスでも運用者向けに概要紹介(2013年5月)

<https://ripe66.ripe.net/presentations/143-RIPE-Lightning-SSAC057-paf.pdf>

- GAC勧告の発表 →理事会で検討のうえ回答が求められる

- GACでリストした特定の文字列に関する課題と対応検討要請
- WHOIS運用・アビュース回避を含む全gTLDに対する契約上の保護措置
- 特別な考慮を必要とする一部TLDに対する契約上の保護措置
- 名詞の単数と複数を区別するとした理事会判断への再考要請

GNSO一部メンバーからも同様の懸念が表明されており、CEOのChehade氏も問題視しているとのこと

新gTLD以外の議論・動向

- WHOISに関する検討

 - “Next Generation - gTLD Directory Services”セッション

 - WHOISの目的、収集・公開すべき情報について、今後を見据えた青写真の策定にあたり、Expert WGからコミュニティへ質問
 - 大きな焦点は、登録情報の信頼性向上につながる十分な情報の収集・公開と個人のプライバシー尊重のバランス

 - “Restful WHOIS”セッション

 - IETFでの標準化動向などの紹介

- ITUの動向紹介：ASO Workshop

 - ITU理事会のインターネット作業部会が以下について意見募集中(締め切り:2013年8月1日(木))
 - ITUメンバーに限らず誰でも意見提出が可能
 - Issue1: スпам対応
 - Issue2: IPv4アドレスに関する国際ポリシー
 - Issue3: インターネットの普及に関する側面

CWG - Internet: Online Consultation

<http://www.itu.int/en/council/Pages/consultation.aspx>

新gTLD以外の議論・動向

- DNSSECに関する情報発信
 - DNSSEC Workshopは充実した講師陣と構成
 - 動画・資料は後からでも参照可能:
<http://beijing46.icann.org/node/37125>

- Introduction and DNSSEC Deployment Around the World
- DNSSEC: Regulative, Legislative and Persuasive Approaches to Encouraging Deployment
- DNSSEC Deployment in Asia Pacific
- Use of DNSSEC in the Reverse Name Space
- The Operational Realities of DNSSEC
- DNSSEC Innovation: DANE and Other DNSSEC Applications
- Root Key Rollover

発表者はSteve Crocker、Olaf Kolkman、Ed Lewis等
アジアの事例紹介ではJPRSからも発表

ICANN46会議を振り返って

- 新gTLDの施行

- 対応事項単位で施行準備は進められているが調整・検討事項も残されている

- 商標保護に関する対応:

- ICANNから提示されたTMCHの継続課題への対応

- 申請者への委任に向けた準備:

- 新レジストリ契約およびレジストラ契約の最終案が公開、一区切りついた
今後の全体スケジュールへの影響は要確認

- 安全性・安定性・消費者保護の観点からの検証:

- 今後GAC勧告への対応検討が必要

- SAC-057で報告されたセキュリティが判明したがおおよそ対処済

- WHOISの見直し

- 検討状況によってはこれまでと情報登録のあり方が変わる可能性もある
- ダーバン会議までにExpert WGによりどのような案が提示されるのか今後の動きを注目しておきたい